

令和4年度事業報告

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されるなど、経済活動の正常化が進みましたが、急速に進んだ円安やロシアのウクライナへの侵攻による物価高騰が続くなど、経済状況は依然として先行きが不透明な状況が続いている。

当センターでは、コロナ禍や主に派遣事業におけるクーリング期間等の影響により、令和4年度の契約金額が前年度比8.6%の減少となりました。

センター事業の厳しい状況を熟考し、更には令和5年10月に開始予定の適格請求書等保存方式（インボイス制度）導入による支払い消費税の増額に対応するため検討を重ねた結果、令和5年4月から事務費率を10%に改定しました。三郷市をはじめ、各発注者様に事務費率改定のご説明とお願いをしたところ了承いただきました。今後、当センター事業にどのような影響があるのか注視していく必要があります。

また、全国的にシルバー会員が減少するなか、当センターでは会員が微増しておりましたが、昨年度は減少に転じています。会員の退会抑制と特に女性会員の獲得が課題となっています。

このような中、当センターでは公益法人として事業の適正な運営と法令順守の徹底に努め中長期計画「後期計画」に則った事業を進めてまいりました。

事業実施状況は、会員数1,139人、請負事業は受注件数1,533件、就業延べ人数7万1,713人、契約金額3億572万5,596円、派遣事業は受注件数88件、就業延べ人数2万2,653人、契約金額1億3,287万9,415円となりました。請負事業及び派遣事業の就業率は74.9%、契約金額の総合計は4億3,860万5,011円となり、昨年度の実績を、4,105万9,380円下回りました。

今後ますます厳しい状況は続きますが、当センターがさらに発展するためにも、会員の皆様をはじめ、市、関係機関、民間事業所並びに市民の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下、主な事業とその成果について報告いたします。

事業の実施状況

(1) 中長期計画の推進

当センターの将来の運営方針と行動計画となる中長期計画（後期計画）に則り、各事業を推進しました。後期計画の期間は、令和3年度から令和7年度の5カ年です。

(2) 就業機会の拡大

会員に適正かつ公平な就業機会の提供と長期就業者のは正等を図るため、安全・適正就業委員会を中心として、就業の基準に関する要綱の順守及びローテーション就業の推進に努めました。また、事務局窓口にある就業案内のほか、ホームページや各公共施設等に「お仕事情報」を掲示し、広く公平な就業機会の提供に努め、新たに「出張就業相談会」を2地区で開催し、未就業会員をサポートしました。

さらに、就業開拓・創出のため人手不足分野の発注者をはじめ地域住民の方々にもシルバー事業を積極的に周知し、就業機会の拡大を図りました。

シルバー事業の多様なニーズに対応し、事業計画に基づいた会員の就業能力及びサービスの質を向上させるため、センター独自の講習会として、接客マナー講習、清掃講習、襖・障子張替え講習、植木剪定講習の4事業4講習を実施し、7日間で延べ38人が受講しました。なお、自転車リサイクル講習は、参加希望者がいなかつたため中止しました。

地域班班長・副班長及び職群班リーダーとしての心構えを学び、円滑な職務の遂行を図るためにリーダー研修会を開催し、28人が参加しました。

労働者派遣事業及び有料職業紹介事業に関しましては「公益財団法人いきいき埼玉」の実施事業所として新たな派遣先の開拓、派遣事業に関する諸規程の整備、情報の収集、派遣元責任者講習及び実務者研修に参加し、派遣事業の推進に努めました。

(3) 安全就業の推進

安全意識の徹底を図るため、安全・適正就業委員会委員と事務局職員が8回、27カ所の就業現場を訪問して会員の健康管理を奨励し、安全保護具の着用を徹底しました。

安全講話会は、埼玉県吉川警察署による「高齢者の事故防止」及び「特

「詐欺被害防止」の講話と、健康管理として三郷市スポーツ健康部健康推進課による「すこやかみさと健康体操」を開催しました。講話会には33人の会員が参加し、安全就業に対する会員の事故防止、安全意識、危機管理意識の高揚を図ることができました。また、すこやかみさと健康体操では、健康体操スタッフの指導を頂きながら身体を動かし、怪我の予防やロコモ予防と心身のリフレッシュを図ることができました。

令和4年度は会員の傷害事故6件・賠償事故5件、計11件発生しました。今後も、より一層の安全就業の徹底を図り、安全な機械への取替えや積極的な意識啓発・事故分析・原因究明と事故発生を未然に防ぐ対策の協議・検討を行い、事故防止対策・安全意識の向上に努めてまいります。

(4) 普及啓発活動の推進

事業の積極的なPRと新会員を募集するため、10月中旬から約1ヵ月間、啓発活動及び会員増強活動を行い、市内全域に47,627枚のチラシを配布しました。また、楽しく健康セミナー「シルボンヌ講習会 免疫力向上講座」を開催し、一般市民を含めた33人のかたが参加しました。

会員への情報伝達を着実に行うため「シルバーみさと」やホームページに適宜仕事の情報や事業のPR等の記事を掲載し、就業機会の拡大及び入会促進に努めました。

(5) ボランティア活動

シルバーの日に合わせ、コロナ禍で中止していた「シルバーの日ボランティア活動」を4年ぶりに開催しました。当日は63人の会員と共に、シルバー事業の啓発及び三郷中央駅前におどり公園の除草・清掃活動を行いました。

各地域班において、公民館など公共施設の除草や清掃など地域に根ざしたボランティア活動を行い、3地区3回、参加会員129人の協力のもと、地域住民の方々にセンター事業の周知を図ることができました。

(6) 組織体制の強化

入会希望者説明会では、役職員が入会のしおりや「公益財団法人いきいき埼玉」が制作したDVDなどを活用してシルバー事業の基本理念や就業に関する現状等の説明を行い、入会希望者(231人)にセンター事業をPR

しました。

入会希望者説明会から新会員研修会までの日程を短縮し、新会員に早期の就業機会を提供することができました。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことから、事務局と地域班長が連携して地域班活動を推進し、会員への情報伝達や地域班組織の機能強化を図りました。

会員の自主的な組織運営と良好な職場環境を目指し、職群班（リーダー89人）の編成と増強に取り組みました。

(7) 会員相互の連携強化

会員相互の連携と親睦を図るため、地区懇談会（地区参加者169人）を実施しました。また地区の自主活動として、おしゃべり会とウォーキング（参加者50人）を開催いたしました。